

令和4年度

上高井郡市PTA連合会 研究集会分科会レポート

小山小学校

森上小学校

旭ヶ丘小学校

仁礼小学校

豊丘小学校

小布施中学校

高山中学校

PTA活動で「守る」ものと「変化」させるもの

～ 長期化するコロナ禍から見えてきたこと ～

須坂市立 小山小学校PTA

新型コロナウイルスの発生から早くも2年半以上が経過しました。PTA活動への影響も大きく、思うような活動ができずに困っている現状はどここの学校も一緒ではないでしょうか。

一方、いつまでも将来予測が立たない中、コロナ禍を理由として「何もしない」、「できることだけやる。できないことはやめてしまう。」ということで活動の質そのものが低下してしまうということが生じていないでしょうか。コロナ禍で見えてきたものを振り返り、今後の活動について考えることをテーマに、レポートを書かせていただきます。

PTA活動の原点は「子どもたちのため」。改めてこの原点に立ち、

「守る」ものと「変化」させるものにメリハリをつけながら

時には大人が苦手なデジタル (ICT) の力も借りながら

変化する状況に『柔軟』であるPTA活動

という視点から、小山小学校の活動や工夫を紹介させていただきます。画期的な成功事例ではありませんが、研究レポートという趣旨からも、一つの実践事例としてご覧いただけますと幸いです。

小山小学校が「守る」もの

コロナ禍であっても、PTA活動で**守る**もの。それは学校ごとに異なると思いますが、およその共通点は以下のようなものではないでしょうか。

- ★ 子どもたちに**楽しんでもらえる**（子どもたちの**ためになる**）もの
- ★ コロナ禍でも、行うことに**理解が得られる**もの

※「安全管理上の理解」と「活動趣旨への理解」の双方が必要だと思えます。

この視点で、小山小学校が工夫しながら継続して行っているものを紹介します。

- ① 保護者有志で企画し主催する「**笹送りの会**」
- ② 仮装（コスプレ）で子どもたちとふれあう「**あいさつ運動**」
- ③ PTAが力を合わせ工夫して行う「**資源回収**」

いずれの活動も、過去のPTAの皆さんが工夫をして企画・実施をしてきた優良な行事です。上記★の視点が明確な行事については、余程の感染状況とならない限り、工夫を凝らしながら守り続けていきたいと考えています。

小山小学校が「守る」もの① 「笹送りの会」-(1)

「笹送りの会」は今から7年前の2016年(平成28年)から実施しています。

コロナ禍で密を避けて感染対策をしなければならない中、今では一年間の中で、全校生徒が一堂に会することができる行事として大変3貴重なものになっています。

毎年、保護者有志でつくる「栃の木(※)応援隊」が七夕に合わせ、校舎の児童昇降口に「笹」を用意し、子どもたちが願い事を書いた短冊のくくりつけや飾り付けを行い、全校生徒が願いを込めて見守る中、校庭で「笹送り」を行っています。

※「栃の木」は小山小学校のシンボルツリー。子どもたちの宝物でもあり、成長を見守る大切なものです。



近隣のお寺さんのご厚意を得て竹を切り出し



学校到着!!飾り付け・設置もPTAで行います

小山小学校が「守る」もの① 「笹送りの会」- (2)

「笹送りの会」当日の様子です。

栃の木応援隊長 (PTA顧問) のご挨拶と、笹を提供いただいたお寺 (須坂市南原町「普願寺」) のご住職さんのお話をお聞きします。



短冊には一人ひとりの願いと想いが…



「目を閉じて、心の中で自分が書いた願いごとを思い浮かべてみましょう。」とのアナウンスのもと、自分の願いを心で思い浮かべる子どもたち。点火により、笹とともに一人ひとりが願いを書いた短冊が炎とともに空へ舞い上がっていきます。グラウンドは静かな雰囲気になりました。



小山小学校が「守る」もの① 「笹送りの会」- (3)

新聞記事にも大きく取り上げていただきました。



保護者が笹飾りに火をつける様子を見守る児童たち=14日



七夕飾りを燃やし、願い事の成就を祈った「笹送り」

須坂・小山小で「笹送り」

煙と天に舞う 七夕の願い事

須坂市小山小学校は14日朝、七夕飾りを燃やし、願い事がかなうように祈る「笹送り」を行った。全校児童約350人の願い事がつづられた短冊が燃え、煙とともに天に舞い上がる様子を見守った。同校では毎年、保護者有志でつくる「笹の木心護団」が七夕に合わせて校舎内にササを置き、児童たちが願い事を書いた短冊や折り紙で作った七夕飾りを付けている。笹送りは2016年に同団が企画画して始まった。

グラウンドの中央に運び出したササの短冊には「テストで100点が取れますよう

みんなの願い 届くといいな

小山小で七夕の行事

小山小(30人)は14日、七夕に書いた短冊を燃やし、天に煙を上げて願いをかなえてもらう「笹送り」(笹の会)を行った。2016年度に保護者と児童が体育館で七夕飾りを燃やしたことが始まりで、3年前から校庭で火を囲む形式になったという。主催は保護者有志の笹の木心護団。点火前に祈りを提供した普願寺の宗田昭興住職(南阿蘇町)は命の大切さについて「スズキニを育てている。毎日何本も収穫できるの、ある日、こんなに実がならなくともいいの」と言った。探れても、二本にたつた。つおやきが聞こえていた。野麦も心が、命をいたいて

2022年7月16日発行
「須坂新聞」記事 16面

2022年)7月15日発行
「信濃毎日新聞」朝刊記事 23面

1年に一度、自分の願いに想いを馳せる貴重な時間になったようです。企画・準備・運営を行ったPTAとしても、自分の書いた短冊が燃えて空に昇っていく様子を真剣に見つめる子どもたちの姿を見て、実施して良かったと思いました。

に「旅行に行きたい」「天の地着は1日、苦手なワケが災害が起きませんように」「イルを練習して、今年のこと書かれていた。全校児童、夏に上手に泳げるように」とが周囲に座って燃え上がる様子を願った。5年の馬場大

小山小学校が「守る」もの② 「あいさつ運動」

「あいさつ運動」は年に1～2回、PTA役員と有志保護者で行っています。

コロナ禍での感染予防対策には十分注意して活動を行う必要がありますが、登校時の子どもたちの手指消毒もかねながら・・・。「おはようございます。」の一言だけですが、なかなか子どもたちの朝の様子を見ることができない保護者にとって、このあいさつ運動は貴重な機会になっています。



PTAもそれぞれお好みの仮装で・・・。

コロナ対策も兼ねた運動ということで、体温計や消毒スプレーを持ちながらあいさつ運動を実施しています。仮装を楽しんでもらいながらあいさつ運動を盛り上げます。

暑い日も寒い日も子どもたちは元気いっぱいです!!

小山小学校が「守る」もの③ 「資源回収」-(1)

「資源回収」はPTA専門部である総務部の主催で実施しています。

資源回収は、資源を持ち込んでいただく地域の皆さんの協力を得て行う行事であること、集めたお金の一部は子どもたちのために使われることもあり、守っていききたい大切な行事となっています。

これまでは子どもたちも参加し、実施日にごみステーションに持ち込まれた資源を回収する方法を取っていましたが、ここ数年は感染防止対策のため、地域の方が回収会場へ直接持ち込み、PTA関係者のみで実施する方法となっています。



学校職員も含め、交通誘導や資源物ごとの回収担当に分かれ、一丸となって作業にあたります!!

小山小学校が「守る」もの③ 「資源回収」- (2)

雨のこともありました…。雨にも負けず！！

すべては子どもたちのために。雨でも元気一杯で作業をしました。始めは暗い気持ちでも、すぐに笑顔と元気が出てきました。



資源回収は飲料類の空き缶などを回収するということもあり、コロナ禍では「中止」や「子どもの参加をさせずに大人のみで実施」という判断もやむを得ないと思います。ただし、地域の方からすれば、ゴミステーションで回収する方法と違って、自動車がなければ会場へ搬入できないこともあり、回収実績はどうしても悪くなってしまいう状況があります。今後、**コロナ感染防止という点での安全確保に配慮しつつ、最も効果的な回収が実現できる方法について検討していくことが必要**になっています。

小山小学校が「変化」させるもの- (1)

コロナ禍のPTA活動で**変化**させるもの。これもまた、学校ごとに異なると思いますが、大きく変えられる可能性があるものとして、

会議の方法（意見集約の方法）

があると思います。コロナウイルス感染拡大が始まった当初、様々な混乱があり、

- 「やるかやらないか迷ったらやめる」とか・・・
- 「会議はやらないに越したことはない」とか・・・
- 「会議は資料を配布すればそれで十分」・・・

といった考えが主流になり、コロナ禍に便乗し、現在においても、この延長にあるという状況が少なからず存在するのではないのでしょうか。

しかしながら、PTA活動は多くのPTA関係者の意見を聞きながら、活動内容の充実や改善につなげていくことが重要だと考えています。

理想は対面で会議を開き、活発な意見交換をしたいのですが、それが何らかの理由で叶わない時、様々なデジタル(ICT)活用が役立ちます。例えば、ビデオ会議(zoomなど)や電子フォームを活用した意見集約です。

今回の研究レポートでは、後者について小山小学校PTAの活用例を紹介させていただきたいと思います。

小山小学校が「変化」させるもの-(2)

「グーグルフォーム」を活用した効果的で効率的な意見集約

グーグルフォームを活用することで、**今までPTA活動で行ってきたことがとても簡単にできるようになります。**質を落とさずに、時代の流れに対応した「変化」するPTAを横展開していただきたく、簡単で便利なツールであるため、校内のPTA専門部や他校での活用促進がなされることを期待し、**機能やフォームの作成方法も含めてご紹介したいと思います。**

【 グーグル(Google)フォームを使ってできること 】

- 連絡先情報の確認 (プロフィール収集や名簿作成情報の収集など)
- 会議等の出欠確認 (申込書や利用・参加希望調査なども)
- スケジュール確認
- アンケート調査 …等々

これらのことが全てスマートフォンやタブレットを使って回答できます。フォームの作り方はとても簡単ですが、フォーム作成までの手順や回答者あて通知作成の方法などを説明したものがなかったため、説明書のような形にはなりますがご紹介をさせていただきます。ぜひPTA活動で積極的に活用してみただけでしたら幸いです。

グーグルフォームの作成方法-(1)

●手順(1)

グーグル機能を使うために、グーグルアカウントを取得します

※既にアカウントをお持ちの方は必要ありません。

Googleアカウントの作成アカウントの作成方法は以下を参照してください。

- Google Support

<https://support.google.com/mail/answer/56256?hl=ja>

※右の二次元バーコードからもアクセスできます。



●手順(2)

グーグルのトップページからログインします



ログインIDとパスワードはグーグルアカウント作成時に設定したものを入力します。



グーグルフォームの作成方法-(2)

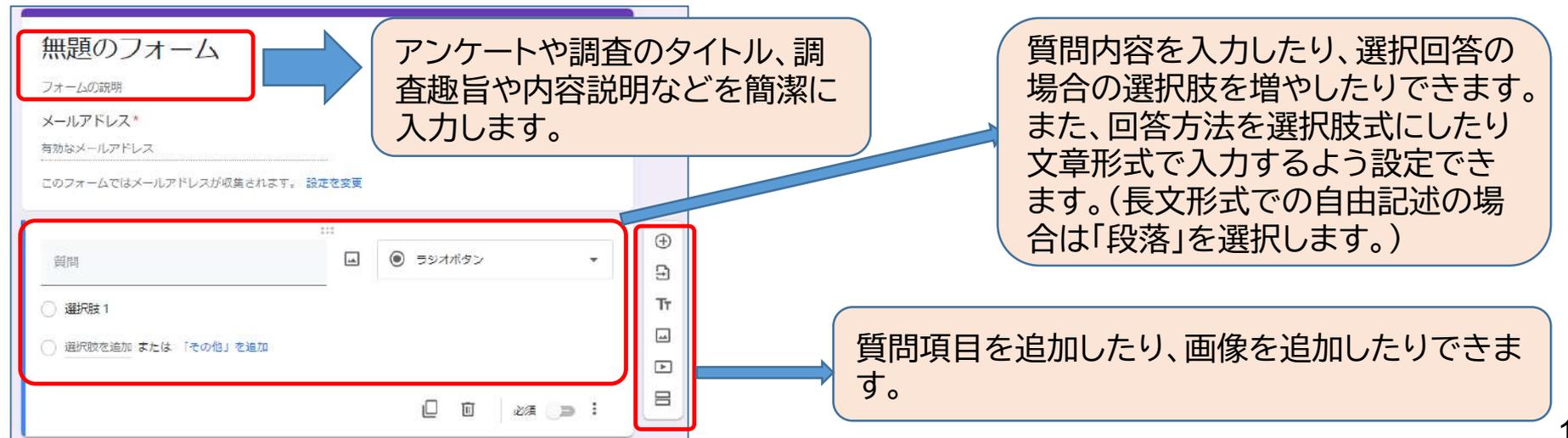
●手順(3) グーグル機能一覧から「Forms」を選択します



右上のメニューの一覧マークをクリックした後、画面を下へスクロールして「Forms」を選択

「新しいフォームを作成」を選択します。
※テンプレートを編集する形でも作成することができます。

●手順(4) フォームを作成・編集していきます



無題のフォーム
フォームの説明
メールアドレス*
有効なメールアドレス
このフォームではメールアドレスが収集されます。設定を変更

アンケートや調査のタイトル、調査趣旨や内容説明などを簡潔に入力します。

質問内容を入力したり、選択回答の場合の選択肢を増やしたりできます。また、回答方法を選択肢式にしたり文章形式で入力するよう設定できます。(長文形式での自由記述の場合は「段落」を選択します。)

質問項目を追加したり、画像を追加したりできます。

フォーム作成後から回答者への通知まで

●作成したフォームはこんなイメージです

●通知印字用のURL作成方法

●フォームに回答してもらう通知を作成します

通知例(抜粋)

2 意見入力方法
右のQRコードを読み取り、ご入力ください。
<https://forms.gle/AA>
Google フォームを使用してご入力いただきます。
(お持ちのスマートフォン等から簡単にできます。)

3 入力期限
8月30日(火) ※期限が短く申し訳ございません。

QRコードを表示するとアクセスに便利です。

あとはURLをコピーして通知に貼り付けるだけです。

このURLからQRコードを作成することができます。作成用のページは多数ありますが、例えば以下のページはURLを貼り付けるだけで簡単に作成できます。
QRコード(二次元バーコード)作成
<https://www.cman.jp/QRcode/>



このような形で通知文に電子フォーム(作成したGoogleフォーム)から回答いただきたいことと、フォームへのアクセス方法を表示します。
あとは通知を発出して、相手方からの回答を待つだけです!!

回答者からの回答待ち（確認）～活用方法

●回答の確認方法と出力方法

質問 **回答 14** 設定

「回答」をクリック

令和4年度_市教育委員会各課への質問・要望等照会

日頃、役員の皆様におかれましては、PTA活動へのご理解ご協力を賜り誠にありがとうございます。さて、市PTA連合会から標記について、学校単位で要望・質問等を取りまとめ、提出するよう依頼がされてお

回答結果がデータ出力されます。

タイムスタンプ	所属	質問	回答
2022/07/22 7:04:52	PTA役員執行部 (副組長)	PTA役員執行部 (副組長)	PTA役員執行部 (副組長)
2022/07/22 18:48:44	学級委員会	学級委員会	学級委員会
2022/07/24 13:22:25	学級委員会	学級委員会	学級委員会
2022/07/25 17:52:36	PTA役員執行部	PTA役員執行部	PTA役員執行部
2022/08/11 16:34:41	PTA役員執行部	PTA役員執行部	PTA役員執行部
2022/08/11 18:05:12	PTA役員執行部	PTA役員執行部	PTA役員執行部
2022/08/12 19:55:23	PTA役員執行部	PTA役員執行部	PTA役員執行部
2022/08/12 19:55:53	PTA役員執行部	PTA役員執行部	PTA役員執行部
2022/08/13 7:41:21	PTA役員執行部	PTA役員執行部	PTA役員執行部
2022/08/15 2:05:41	学級委員会	学級委員会	学級委員会
2022/08/16 11:41:52	学級委員会	学級委員会	学級委員会
2022/08/17 12:38:43	学級委員会	学級委員会	学級委員会
2022/08/18 21:47:48	PTA役員執行部	PTA役員執行部	PTA役員執行部
2022/08/21 9:24:52	PTA役員執行部	PTA役員執行部	PTA役員執行部

質問 **回答 14** 設定

14件の回答



「回答をスプレッドシートに表示」をクリックすると...

回答結果が表示されます(即時反映です)

所属を選んでください。
14件の回答



役職名を入力してください。

学校教育課への要望がありましたらご記入ください。

南即児童センターの外遊びできる場所の拡大と、駐車場の確保・小山小学校の保護者の駐車場の拡大・オンライン学習（リモート学習）における市内小学校の内容の平等化

教員補助配置、英語活動

フォートナイトなどR指定のゲームに夢中になっている児童が複数人おり、休み時間だけでなく、授業中にもゲームの話をしており真剣に授業に取り組んでいる児童への妨げとなっており、学びの場を奪われている（先生の話が聞き取れない、授業に集中出来ない）。※先生が注意しても言うことも聞かないと聞く。

通学路の安全対策

夏休み中のICT通信について、システムの改善が必要だと思います。①送信後にも最初に戻りログインするのが手間。②どの項目まで終わったか分からないので、回答済みは色を変えるなど必要。③項目を選ぶように一斉チェック機能が必要。使ってみても不便でした。紙で答え合わせをして、送信するならば、タッチペンを使用してそのまま送信した方が良いと思います。答え合わせも時間がかかる上に、この作業もあり、親も子供もとても大変でした。来年からは検討お願い致します。

★出力されたデータ(スプレッドシートのデータ)を別で開いたエクセルシートなどに貼り付けて編集することで、回答結果を簡単にまとめることができます。

★これまで行っていたような・「紙でアンケートを作る」「記入欄を設けて配る」「戻ってきた回答をまとめる」といった**作業負担が大幅に軽減**されます。

★スマートフォンで回答もできるため、**回答率が上がり、有意義な意見集約**ができます。

今後の活用想定など

ご紹介させていただいた電子フォームによる意見収集は様々な場面で活用ができると思っています。例えば以下のような場面です。

- 役員が交代した時の「自己紹介」シートの作成のためのデータ収集
- PTA作業(清掃)や資源回収の反省アンケートの実施
- 比較的形式的な承認や確認を求める会議の意見集約(書面会議)
- 行事の出欠確認 等々。

「メリット」と「デメリット」

メリット

- ◆ 意見集約が簡単になる。対面よりも個人意見が活発に出される傾向にある。
- ◆ 短期間で回答が欲しい場合、意見収集までの所要期間を短縮できる。
- ◆ 忙しい時間帯等での対面参集が不要になる。

デメリット(留意点)

- ◆ きちんと対話や議論をしながら結論を導き出したい会議の時は活用できない。
- ◆ 個人情報等を入力させる場合は、回答者への十分な説明により理解を得るとともに、データの管理に注意する必要がある。

おわりに

コロナ禍のPTA活動で「**守る**」ものと「**変化**」させるものについて、レポートをさせていただきました。

子どもたちも慣れないタブレットを使い、オンラインでのミーティングや宿題などにチャレンジし、変化に対応しています。

私たちPTA(大人たち)も、コロナ禍において、ただ「できない」、「難しい」と諦めるのではなく、「何ができるか」、「どうすれば今までの質を落とさずに、同じ内容のことができるか」、「コロナ禍をチャンスととらえ、新しい視点で活動を見直せないか」ということを真剣に考えていく必要があると感じています。
(PTA活動全体の点検活動とカイゼン活動)

コロナ禍におけるPTA活動は各学校ごとに様々な工夫がされていると思います。PTAも常に考え、学び続け、**他校の取り組みを、横の連携で情報共有しながら、このコロナ禍のPTA活動をみんなで工夫してより良いものにしていきたい**と思います。

最後までお読みいただきまして、ありがとうございました。

上高井郡市PTA連合研究集会分科会レポート

目的意識を持ったPTA活動

令和4年8月30日

須坂市立森上小学校



須坂市立森上小学校について

昭和9年(1934年)開校し2024年度に創立90周年を迎える。
須坂駅や市役所を含む市内中心市街地域に位置し、周辺には比較的商業施設が多い。

古くからの住居・商業地域と新興住宅地が混在する為、地域により児童数に偏りがある

学校教育目標

•「明るく直き心」

礼儀・誠実・健全を中核に据え、「生きる力」を備えた児童の育成を目指し、「主体的に取り組む(自ら気づき・求め・考え・判断し・行う)」児童を合言葉とし、一人一人の個性を尊重しつつ、共に生きる心豊かな人間を育てる(自立と共生)活力ある学校を創造する。

レポート作成理由

- 森上小学校では令和2年度と3年度に学校をイルミネーションで飾っています。

イルミネーションを飾る行為は一緒なのですが、令和2年度と3年度では目的が違います。

今回のレポートは、この2年間を比較することで大切な気づきがあったので発表します。

令和2年度イルミネーション(第1回)

動機

緊急事態宣言が発動され、例年通り学校行事が出来なくなった。修学旅行は目的地を県内に変更し、運動会や音楽会は規模を縮小したり、分散して異例の行事開催になった。

その為児童達が寂しい思いをしているのでは無いかと考え、児童達の思い出に残るような活動を目指しPTAで意見を出し合った。



アートパークでのイルミネーションが2016年で終了し、今は須坂市でイルミネーションのきれいな場所が少ないことからイルミネーションに決まった。

イルミネーションを児童とPTAで協力し飾り付けることで森上小学校での思い出の1つにしたい。

又コロナ禍初年度という事で、学校行事授業など例年通りといかない中、教職員の先生方は毎日大変なご苦労をされていたので、学校での仕事帰りにイルミネーションを眺めることで、先生の癒しになって欲しい。

さらには日頃から森上小学校を支えてくださっている地域の方々には、コロナ禍で学校に来ていただく事が出来ずにいたので、一般公開する事でまた学校にお越し頂きつながりを持ちたいという意味もあった。



さらに、コロナ禍で日本中、世界中に閉塞感があったので多くの方に森上小学校と森上PTAの活動を知ってもらい、森上小学校のイルミネーションが皆さんの希望の光・癒しの光になって欲しいと思った。

その為、多くのメディアに情報提供し、須坂新聞、グーライト、信濃毎日新聞、テレビとラジオの民放にも取り上げてもらった。



令和3年度イルミネーション(第2回)

• 動機

当学校では、PTAの適正化の一つとして、毎年必ず行っていた親子レクを、令和元年度より開催の有無は各学級に任せる方向となりました。

その結果、全学級で開催しない決定がされてしまいました。

また、令和2年度は新型コロナウイルスの蔓延により、PTA活動を制限される事態となりました。



親子レクには企画準備の役員の負担もありますが、親同士が交流でき親子で学びあえる場となるメリットがあると考えます。

親子レクの復活のきっかけとなれば良いと思い、昨年度行ったイルミネーションが好評だったのを受け、飾って見ってもらうだけでなく、親子レクとしてイルミネーションを絡めたレクレーションを行いたいと企画しました。



当初の構想

- ①電飾等の機材は、役員を務めていた電気屋さんから借りる事が可能。
- ②飾り付けは、昇降口前や校門周辺の植木を中心に飾り、役員と6年生の親子に手伝ってもらう。
- ③後日、6年生の親子レクとして、学校でイルミネーションを飾るオーナメントを作成し、そのままイルミネーションに飾り付けをし、みんなでカウントダウンの掛け声でイルミネーションを点灯する。

6学年役員と学校との相談

- ①学校側に親子レクでのオーナメント作りを提案したが、校内(教室)で大勢が集まる事に対して許可が出なかった。

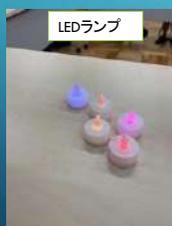
(新型コロナウイルス感染リスク回避の為)

- ②野外で点灯式を行う事は可能であるとの事。



方向転換

- ①各家庭に装飾用のLEDライトを配布し、点灯式当日に持ち寄って飾り付ける事になった。
- ②従来のような、学校で親子が集まり製作する形態が出来ない為、親子レクという名目にはせず、総務会主催の点灯式に参加してもらう形になった。

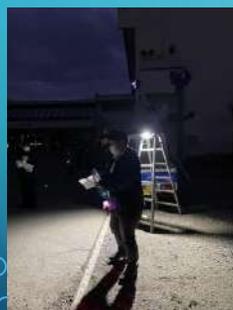


当日

- ①6年生の親子に集ってもらい、PTA会長考案のストーリーと音楽に合わせ、点灯前のイルミネーションの周りにランタンを並べ、カウントダウンの掛け声で点灯。
- ②点灯後は、各自写真などを撮り、ランタンは持ち帰ってもらった。
- ③イルミネーションはその後数ヶ月点灯し続け、役員で片付けた。



点灯式写真



手作りランタン



意見・感想

- ①総務会で場を用意する事で、親子レクもやり易くなるのではないかな。
- ②点灯式は後日再度出来るので、6年生だけでなく他の学年でも出来たのではないかな。
- ③役員に電気屋さんがいたため、方向転換しても柔軟に対応し進める事が出来た。
- ④ コロナ禍でPTA活動のほとんどが中止や縮小された中で、何か出来る事がないかと模索して実現できた活動でした。

⑤第1回目のイルミネーションは特にコロナ禍で外出が中々出来ず、ギスギスしている中での開催でしたので子供がとても喜んでいました。

⑥コロナで大変な時にかなり大掛かりできれいに作ってあり、ビックリしました。親子共々コロナ禍で沈んだ気持ちをイルミネーションを見て、気持ちも晴れやかになりました。

⑦当時の6年生も準備のお手伝いをしてくれたみたいな事を新聞に書かれていた様な気がしましたが、コロナで行事が中止や縮小されてしまったりしていましたので、思い出作りも出来たので良かったのではないかと思います。



⑧ コロナ禍で色々な制限や、それぞれの立場で考えや思いがあり、企画を学校に許可してもらったり、保護者の理解を得るのは難しかったなと感じました。

実際やってみた感想としては、やって良かったと思いましたイルミネーションはコロナ禍の中で希望の光、癒しの光として大きなインパクトがあったと思います我が校で素敵なイルミネーションをやっているというのは子ども親も嬉しく、誇らしい気持ちになりました事前の設置作業では、子ども達の喜ぶ姿を見たいという気持ちで先生と一緒に作業し、先生との距離感が縮まった気がしました2年目の点灯式では、子ども達の喜ぶ姿を直接見る事ができたので、1年目よりさらにやって良かったと実感しました子ども達にとっても、思い出のイベントになったのではないかと思います。

意見・感想(親)

① 子供と一緒に、ランタン製作楽しく出来ました。当日、みんなで集まったの点灯式は、夜ということもあり、子供たちがワクワク楽しめたと思います！会長の点灯の仕方みんなで元気に掛け声を掛ける場所などの工夫が良かったです。

② 子供たちが作ったランタンをその日だけ、持ち寄って点灯式後に持ち帰るのが、せっかく作ったのに、もう少しお互いのランタンを見たり、飾っておける工夫が欲しかったです。外なので雨や管理が大変かと思いますが。

最後に

- 初年度は寂しい思いをしている児童に、小学校楽しい思い出を残したい思いイルミネーションを飾った。又学校を支えて頂いている地域の人との繋がりを大切に考え、メディア等で森上小学校のPTA活動を発信した。結果森上小学校の児童保護者のみならず、沢山の人にイルミネーションを見てもらう事が出来た。多くの方に森上小学校PTAの活動を知ってもらえた事と、お世話になっている地域の人との繋がりもしっかり取れたと思う。
- 2年目は現状の森上小学校のPTA活動の課題を考えた時に親子の繋がりや、親同士の繋がりを広げたいと目的を持ちイルミネーションを行った。
- 親子が一同に会して(親子レク)オーナメントを作成する事は出来なかったが、PTAの問題点が明確になり次年度に引き継いだ。

同じイルミネーションを飾る企画だったが、狙いが全く別のところにあった。

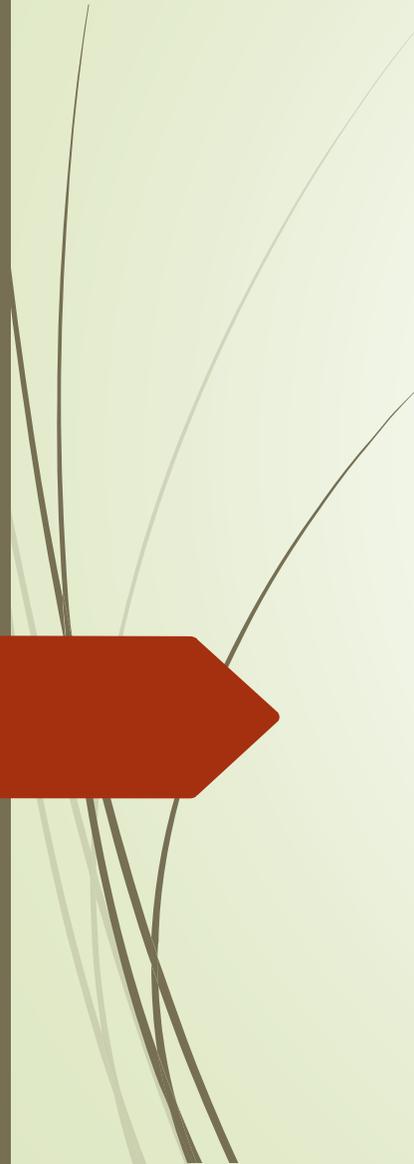
緊急事態の中、学校及びPTAの問題点を見つけ出してその問題点に対応した活動が出来た事がとても良かった。

今後のPTA活動は行事に縛られる事が無く、問題点や目的に応じた活動をしていきたいと思う。

又、現状の森上小学校PTAの問題点として、平成元年に行った「PTA活動の適正化」が思惑よりも強く出過ぎ、会員同士の繋がりが希薄になっている。

今後は適正化を再度見直し、時代に合わせながら会員同士の交流も取れるように活動していきたい。

その足掛かりとして親子レクの復活を望む。



令和4年度
上高井郡市PTA連合会
研究集会分科会レポート



須坂市立旭ヶ丘小学校
PTA会長 山崎 永一

令和4年度・活動テーマ

《改革実行》新しい時代に必要とされる
組織となるため取り組む 3つのチャレンジ

👉 ポイント

- コロナ禍だけでなく、価値観の多様化や人口の減少など環境の変化から、P T A 活動の改革が必要と感じる。
- P T A 活動の一番の目的である「子ども達のために」を大切にしながらも、会員一人ひとりが積極的に参加し、学びや成長を感じていける組織でありたい。

令和4年度・スローガン

SAIKOU~再考・最高・さあ、行こう~

ポイント

- 令和4年度の活動テーマに沿って、具体的なアクションが起こせるよう3つの“チャレンジ”を掲げました。

◆チャレンジその1 『再考』

行事、会議体、組織など、新しい時代に向けてP T Aがどうあるべきか広く意見を集め、考えるための取り組みを実施します。

具体的な活動計画



現状の課題、将来に向けて変えていきたい点など、P T A活動に対する全保護者対象のアンケート
(秋頃実施予定)



アンケート集計、役員会での協議を経て
改革案を理事・評議員会および総会に上程
(冬～来年度頃実施予定)

◆チャレンジその2 『最高』

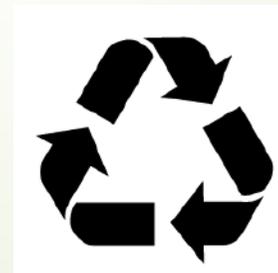
P T A 活動に関わる人たちが“やりがい”を大切にし、活動を通して学びや成長を感じていただけるよう取り組みます。

具体的な活動計画



P T A 有志の会

過去に実施していた「おやじの会」について、事業の趣旨を変更して実施
(詳細は後述)



おさがり交換会

教養部の方の自主的な発案により新規事業として実施
(詳細は後述)

◆チャレンジその2 『さあ、行こう』

役員だけでなく、一般の会員であっても積極的に活動に関われるような事業の設営や新しい形での情報公開に取り組みます。

具体的な活動計画



P T A有志の会

過去に実施していた「おやじの会」について、事業の趣旨を変更して実施
(詳細は後述)



公式LINEの開設

P T Aの活動について知っていただく機会を創出するため実施
(詳細は後述)

◆事業紹介① 公式LINEの開設

👉 目的

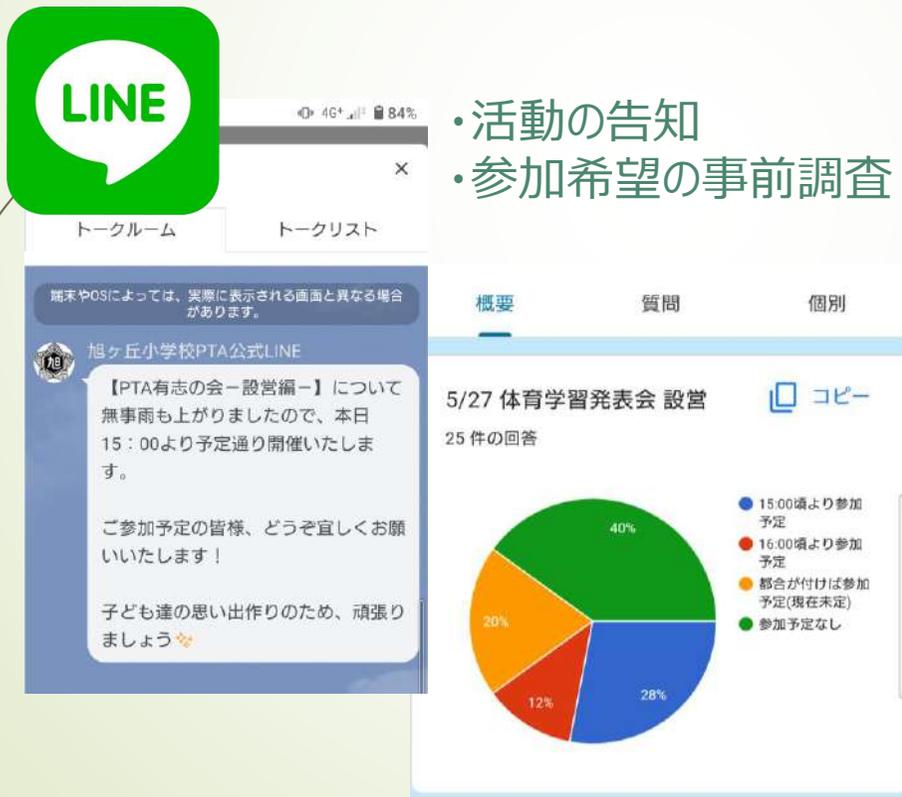
■新型コロナウイルスなどの影響による事業中止により、役員以外の会員がP T A活動について知る機会が減少しています。普及率の非常に高いオンラインコミュニケーションツールであるLINEを活用することにより、P T A活動について知っていただく機会を創出することを目的としました。

実施までのスケジュール

- ・1～3月 公式LINEアカウントの研究
- ・4月上旬 学校へ事業計画書を提出
- ・4月下旬 理事会にて事業内容の説明
- ・5月～ 公式LINEアカウントの運用開始

✎ 具体的な事業内容

- ・ P T A 活動の告知、参加募集
- ・ 写真、動画等を含めた P T A 活動の報告
- ・ アンケート調査等の実施 ほか



LINE

トークルーム トークリスト

週末やOSによっては、実際に表示される画面と異なる場合があります。

旭ヶ丘小学校PTA公式LINE

【PTA有志の会－設営編－】について無事雨も上がりましたので、本日15:00より予定通り開催いたします。

ご参加予定の皆様、どうぞ宜しくお願いいたします！

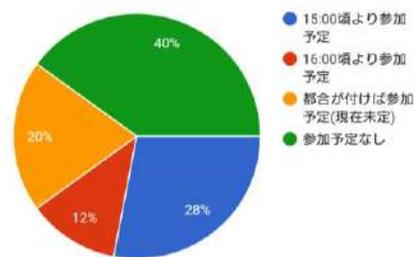
子ども達の思い出作りのため、頑張りましょう🍀

概要 質問 個別

5/27 体育学習発表会 設営

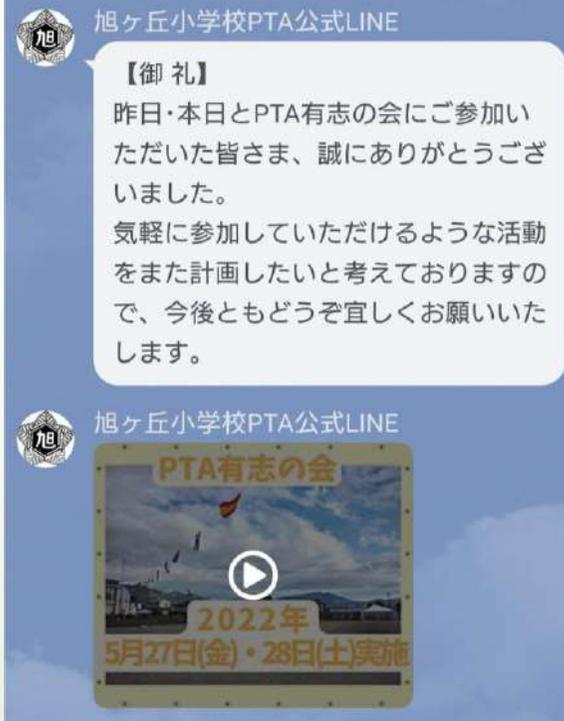
コピー

25 件の回答



回答内容	割合
15:00頃より参加予定	28%
16:00頃より参加予定	12%
都合が付けば参加予定(現在未定)	20%
参加予定なし	40%

・活動報告



旭ヶ丘小学校PTA公式LINE

【御礼】

昨日・本日でPTA有志の会にご参加いただいた皆さま、誠にありがとうございました。

気軽に参加していただけるような活動をまた計画したいと考えておりますので、今後ともどうぞ宜しくお願いいたします。

旭ヶ丘小学校PTA公式LINE

PTA有志の会

2022年

5月27日(金)・28日(土)実施

◆事業紹介② P T A有志の会

👉 概要

■活動テーマに掲げた「チャレンジ」の一環として、役員ではない一般の会員の方にも積極的に活動参加していただけるよう新しく創設した事業。

コロナ前まで毎年実施していた「おやじの会」を改め、『決して無理をせず、各自ができる範囲で子どもたちのためになることを行う』、また活動に参加した会員が“やりがい”を感じられるように、という点にも留意しました。

実施までのスケジュール

- ・1～3月 学校側に実施相談
- ・4月上旬 実施内容決定
- ・4月下旬 全会員向けに告知配布（その後メール・公式LINEも活用）
- ・5月下旬 第一回：体育学習会の会場設営・撤収実施
- ・秋以降 第二回PTA有志の会実施予定

✎ 具体的な事業内容

- ・体育学習発表会の会場設営、撤収作業
- ・体育学習発表会の会場装飾



↑【会場設営の様子】
平日の開催となりましたが、多くの
PTA会員の方にご参加いただきました

【万国旗の設置】→
数年間途絶えていた万国旗の装飾を復活させ発表会の雰囲気を取り上げました



◆事業紹介③ P T A 講演会

■ 株式会社 DreamSeed 代表の三井洋子様にご来校いただき、3年ぶりに実施いたしました。新型コロナ対策として校内のPC教室より全教室にLIVE配信という初の試みにて実施。講師への質問もメールにて受け付けました。

令和4年度
旭ヶ丘小学校PTA講演会

講演会テーマ

《WITHコロナ》の中での子どもたちの
ストレス対策、親のストレスケア、感染対策

～大切な人との時間を安心して過ごすために～

株式会社 DreamSeed 代表取締役

三井 洋子 氏

講師プロフィール

1981年慶應義塾大学医学部付属厚生女子学院卒業
1982年長野県公衆衛生専門学校保健師学科卒業
1982年4月より須坂市役所に保健師として勤務、
2008年株式会社 DreamSeed 設立。
保健医療従事者の教育、研修をはじめ、企業の健康
管理やメンタルヘルスのコンサルティングや個人・
法人を対象とした健康相談、カウンセリングなど、
ひとり一人が自ら楽しく働き、幸せを感じて生涯を
送れるような地域社会づくりへの貢献を理念に活動



日時 令和4年6月16日(木) 14:20～15:50

場所 授業参観終了後、PC教室より各教室への
ライブ配信となります



・当日の様子



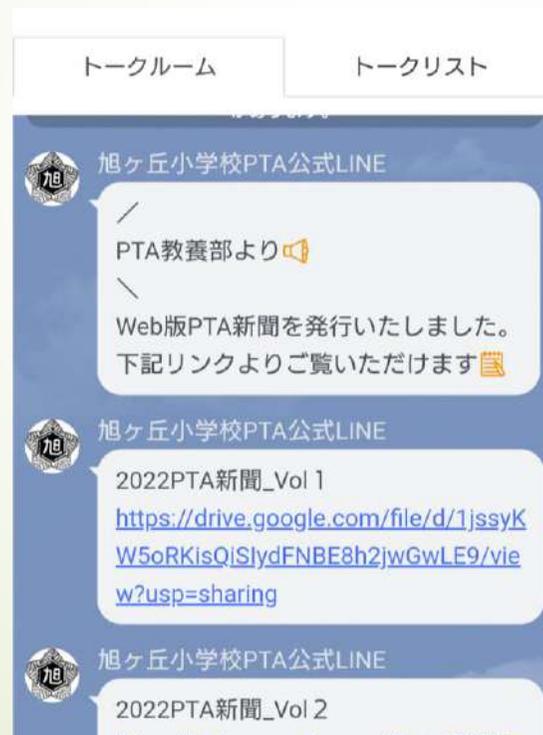
◆事業紹介④ おさがり交換会

■ 毎年教養部で実施している運動着や鍵盤ハーモニカのリユース活動を、今年は「おさがり交換会」と題して実施。各家庭から持ち寄ってもらった不要になった学用品を体育学習発表会の日に自由に立ち寄って持ち帰ってもらえるよう設営しました。教養部部員の方たちによる発案の新しい試みです。



◆事業紹介⑤ P T A 通信

■ 教養部の事業として実施。
メール配信や、公式LINEアカウント
を使って共有をしています。



PTA通信
2022年 VOL.2
旭ヶ丘小学校
PTA教養部

第1回セルフ型古紙回収

令和4年5月21日(土)・22日(日)にセルフ型古紙回収を実施しました。ご協力ありがとうございました。

昨年度に続いて、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、今年度もセルフ型にて古紙回収を行いました。各ご家庭、地域の皆様のご協力に感謝申し上げます。回収された古紙による資金はPTA活動費に充てられております。

回収結果

- ★今回の回収総量は **2750kg**
- 新聞 940kg・雑紙 780kg・ダンボール 1000kg
- 牛乳パック他紙類 30kg

昨年度の回収結果は以下の通りです。

- ★第1回・・・3,250kg
- ★第2回・・・2,090kg
- ★第3回・・・1,810kg

昨年度第1回と比べると少ない回収量となりました。

コロナ禍でも各自で出来るPTA活動となります。
引き続きご理解とご協力をお願い致します。

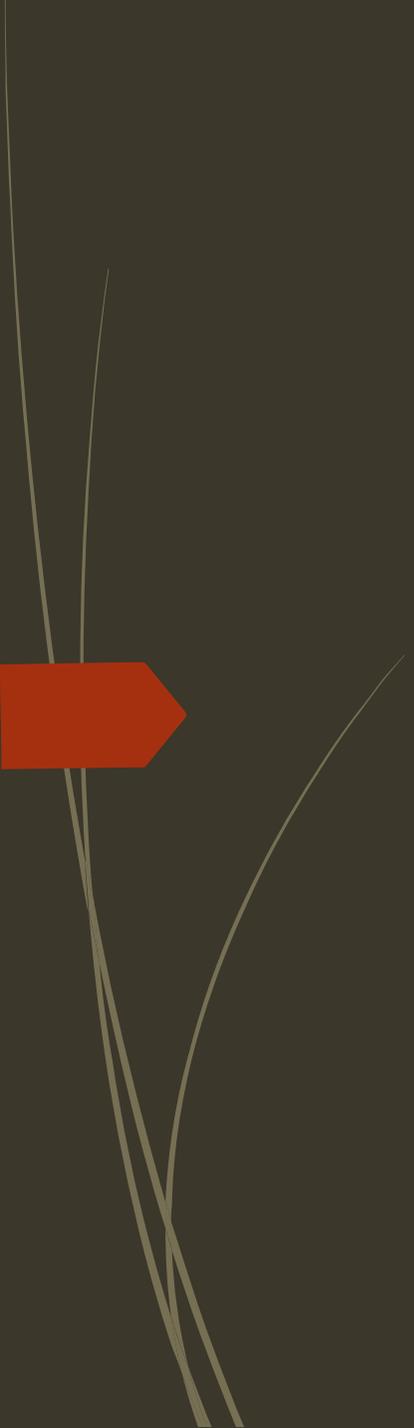
次回セルフ型古紙回収
9月10日(土)
11日(日)
7:00~
17:00

次回の予定

◆事業紹介⑥ 親子レク

■コロナ禍により2年間実施できない状況が続いておりましたが、学級の親同士の結びつきが希薄になってきている状況を鑑み、今年度は実施をする方向で各学級会長の皆さんに企画を立てていただきました。残念ながら新型コロナウイルスの感染拡大により中止を余儀なくされた学級も多数ありましたが、実施計画を立てるだけでも前向きな一歩につながったと考えます。





ご清聴ありがとうございました

令和4年度 上高井郡市PTA連合会 研究集会レポート

須坂市立仁礼小学校PTA

仁礼小学校PTAサポーターズについて

-- 子供達の学習環境の維持や学びの活動をサポートする一つの方法 --

1. 仁礼小学校について

仁礼小学校は菅平高原（峰の原高原）の麓に位置し、学校の外に出れば山や川、たくさんの畑や田んぼがあり、まさに大自然の中にある学校です。

仙仁浅間塚・中村・関谷・栃倉・亀倉・米子・夏端・塩野と広い地区の子どもたちが集まる学校となっております。

歴史も大変古く、明治19年には仁礼尋常小学校としてこの地にありました。そして令和6年には創立150周年を迎えます。



2. 仁礼小学校PTAサポーターズとは

仁礼小学校PTAサポーターズは平成30年に発足しました。
少子高齢化や都市移住に伴い年々減少していく家庭数や児童数（令和4年度で家庭数140世帯・児童数185名）

それに伴い学校職員も減少していく中、学校の維持管理、美化活動、子どもたちの快適な学校生活環境作りが難しくなってきました。

そんな中、地域の方にも参加いただき
『**出来る人が、出来る事で、出来るときに参加する**』
をモットーに、地域を巻き込んだPTA、つまり **【PTCA】**
を目指して誕生したのが・・・

【仁礼小学校PTAサポーターズ】！！ です。



3. 活動体制と連絡方法

仁礼小学校会則にも明記され正式な活動グループとなっているサポーターズ、安心して作業に参加していただけるよう、活動に関する万が一の事故等においても保険適用できる体制になっています。

さらに、参加しやすいよう現在ではほとんどの方が利用されている**LINEグループ**による連絡方法を利用して活動案内・参加募集をかけております！

活動の仕組み



学校より
「こんな作業をしたいの
ですが…」
との相談がPTA会長へ



PTA会長から三役へ周知
の上、サポーターズLINE
グループへ運営担当の
幹事よりお知らせ



連絡を受けた
サポーターズメンバ
ーの都合のつく方のみが
参加の意思を返信



作業当日！
それぞれの担当に
振り分け各所にて作業！
作業中の時間も保護者同士、
先生との良い交流・情報交換
の時間に♪



4. 主な活動実績

活動は簡単なものから、特殊な作業と、子どもたちの学校生活に関わるもの全てに対応していく事を目標としております。

主な活動実績をご案内したいと思います。

枝切作業

桜の古木の高枝や校庭周辺の植木の剪定もします。



草刈り作業

校庭も広く草がぐんぐん伸びるため、年二回のPTA作業で草刈をしています

それだけでは足りない時に出動します。



下駄箱ペンキ塗り

下駄箱の塗装が剥げてしまった時には塗り替えも行いました。



トイレ掃除

学級数の減少によって生徒の清掃では手が回らない場所が出てきたためや

清掃のお手本となるように一緒に作業しています。



池の掃除

校庭に魚のいる池があります。時には清掃も必要です。



運動会片付け

運動会後のテントの撤収やサッカーゴールの移動等大勢のご参加をいただいています。



遊具タイヤの撤去

タイヤが半分埋まった遊具が経年劣化によって潰れてしまう部分があるので、安全の為に掘り起こして撤去しました。重機を持って作業に参加していただきました。



砂場の整備

砂場の砂が水路に流れ込んでしまうので、せき止板を設置しました。



サッカーゴールペンキ塗り

サッカーゴールの塗装が剥げて錆びてしまったものを、電動工具で磨いて白く塗装しました。

道具はそれぞれで持ち寄り、塗料等消耗材はPTAの予算から購入しています。



作業日のサポーターズ



『出来る人が、出来る事で、出来るときに参加する』

5. 発足からこれまでの活動で得られた事

- ☆ 今まで学校やこどものことについてあまり積極的でなかった父親の積極性が上がった
- ☆ **LINE**にての作業案内・参加者確認となることで、学校より書面の発行や、役員から出ていただけませんか？などの電話確認をしなくて済み、スムーズな運営が可能に
- ☆ 出れる方が出れる日というモットーのおかげで、沢山の人を集めて、仕事の割り振り・段取りなどで先生方が逆に大変なことになってしまうということもない
- ☆ サポートーズの作業があることで、全校保護者のPTA作業という活動も無くすことができて、コロナウィルスによる密集を避けたいという部分でも良い影響が出ている
- ☆ **LINE**の連絡グループが時にサポートーズの連絡とは異なる内容で、情報交換の場ともなっている例
 - 例1) レタスをたくさんいただいたので皆さんにおすそ分けしますよ～
 - 例2) (運動会後にブドウ農家さんから)
今からブドウを割引販売しますよ～
 - 例3) 知り合いの方が車を盗まれてしまったので、この車見かけた方は情報ください～

上記の通り、多くの良い効果が出ていると感じられます。また、参加されている各個人の方々にも、それぞれにメリットを感じていただけているようです。

6. 現在かかえている問題点と今後の展望

素晴らしい活動ができている一方、いくつか問題点も上がってきている。そんな問題点も踏まえ、今後の展望・期待していく事は以下の通りです。

- サポートアズの活動に賛同していただけている保護者が参加してくれているが、同じ顔触れが毎回多いことに少しの不安感がある
 - 現在（R4/4月）の会員数（LINEグループ登録数）が約50名多いようにも感じますが、活動案内に対し、都合等により参加できる方は、今のところ10%程度となっているので、会員数自体を2倍、3倍にしていく事が必要
 - 現在の会員は現役（子どもたちの保護者）がメインとなっており、まだ地域の方々との連携が取れていない
 - LINEを使うことでかなりのメリットがある一方、LINEを利用していない世代（ご年配）の方々への勧誘・案内ができていない
 - 学校からの要望が、子どもたちの学校で過ごす時間帯と一緒に活動といった場合に人員を集めるのが困難
- ・ **こういった問題点はいくつかあるものの、発足から年々と人数も増え、活動の内容も広がり、活動回数も学校との連携により増えてきています。**
 - ・ **子どもたちの為の活動が機能してきておりますので、今後も人数を増やし、ご年配の地域の方々にも参加いただける形を模索し、地域の方々と保護者と先生方の密接な関係を築き、目指す【PTCA】に向けて発展させていきたく考えています。**



令和四年度 上高井郡市PTA連合会研究集会

研究テーマ

PTA活動の変化

豊丘小PTA活動報告

須坂市立豊丘小学校のご紹介

概要

- ・ 須坂市の東方に位置し、市街地から離れた山間・農村地帯にある学校です。
 - ・ 昭和46年、東村が須坂市に合併することにより、東村立東部小学校から須坂市立豊丘小学校となりました。
 - ・ 全国的な少子化傾向により児童数の減少が続き、昭和48年には全校児童数77名まで減少しました。
 - ・ 昭和51年より県営雇用促進住宅の建設が始まり、市営住宅・分譲住宅も次々と建てられました。
 - ・ 豊里団地、次いで大日向団地、豊中団地も造成され、須坂市の住宅地として発展しました。
 - ・ 児童数もしだいに増加し、平成2年には10学級254名となりました。
 - ・ 平成5年、9学級249名を境に再び減少傾向に転じました。
- [令和四年度]
- ・ 学級数…6学級
 - ・ 児童数…56(新入生8名)でスタートです。

学校目標

「心豊かで 考え深く たくましく」

1. 心豊かで・・・つながろう

- ・学級作り
- ・心を育て、関わりのよさを感じさせる道徳と特別活動
- ・地域と関わる活動の重視

2. 考え深く・・・向き合おう

- ・連隔年での授業や自由進度学習の研究
- ・行事における児童が主体性を発揮する場の工夫
- ・縦割り班でのドリル学習

3. たくましく・・・高めよう

- ・願いをもったり、学びを振り返ったりする場の工夫
- ・相談体制の充実
- ・縦割り清掃の年間実施

自他のよさがわかる
気持ちを伝える
関わりを広げる

自分で考える
自分の考えを伝える
自分から学ぶ

自分の生活を見直す
相談できる
目標に向かって続ける

須坂市立豊丘小学校の児童数推移

・現在の豊丘地区は、児童数の減少が大きな問題となっている。

・令和9年度では、1年度と比較して50%減となる予想。今後は、学校・地域・家庭が更に協力し合い、減少傾向に合わせたPTA活動が必須である。



PTA活動～資源回収～

《令和2年度まで》

《令和3年度から》



常設コンテナの設置



須崎市立豊丘小学校

PTA活動～資源回収～

- ・従来は年1回5月に、支部長、校外指導部、PTA評議員の皆さんのご協力で資源回収を行っていた。
- ・地域によっては役員一人で地域の資源を集めていた。
- ・今後、更に児童数の減少に伴い、家庭数の減少も予想される。

関係者の負担を減らす、多くの地域の皆さんのご協力を頂く
という狙いで、通年の設置型の資源回収に変更。

収益は、児童へ図書費等として還元

地域との関係性

地域講師による活動

・コロナ禍で活動の制限はされているが、地域との繋がいを大切にしている。

・地域との繋がいを通して、勉強以外に生き抜く強さを身に付ける為の学習も実施している。



クラブ活動
遠足
畑や花壇



豊丘小PTA活動の歴史と今後の展望

- ・地域全体での児童の健全育成・地域の後継者育成を期して、かつてはPTAには全戸加入・準会員として参加、協力をいただいていた。
- ・時代の流れ・変化に応じ、平成6年より準会員制度は廃止。
- ・地域を挙げて、児童・学校のために支援を惜しまない、温かい地域です。
- ・各種行事、保護者・地域の皆さんの参加・協力を積極的に図っています。

- ・コロナウイルスの感染拡大に予断を許さない現状である。
- ・児童が自身で学べる環境作りやICT機器を更に活用した学習
- ・児童が安心した学校生活を送れるよう、関係各位が連携し、柔軟な対応をしていく必要がある。



小布施町立小布施中学校 PTA 活動の取り組み
『コロナ禍における PTA 活動』 『地域と連携した PTA 活動』

1 コロナ禍における PTA 活動

- (1) 令和2年度からの P T A 活動
- (2) 令和2年度の特別な取り組み
 - ① PTA 会費の見直し
 - ② 中体連夏季大会中止に伴う、夏季交流大会への支援
- (3) 令和3年度の特別な取り組み
 - ① 書面決議による PTA 評議員会の運営
 - ② PTA 活動の精選と組織の見直し
 - ③ 感染症拡大防止のための支援活動(加湿器設置の支援)
 - ④ オンラインによる会合旅費の支給(通信費として一律 500 円)
 - ⑤ 資源回収中止に伴う、生徒会活動への支援

2 『地域と連携した PTA 活動』

- (1) 小学校との連携『小布施町連合 P T A 連合』
 - ① 町内危険箇所点検
 - ② 町長さんとの懇談
- (2) 地域行事への協力
 - ① 資源回収
 - ② 地域行事への協力

1 コロナ禍における PTA 活動

(1) 令和2年度からの小布施中学校 P T A 活動

令和2年度 PTA 会長 PTA 総会にあたって

令和2年度以降の PTA 総会は、新型コロナウイルス感染症の拡大防止対応のため、特別な対応となります。PTA 三役会や PTA 活動に関わる方々で検討を重ね、令和2年4月10日の第1回評議員会において、PTA 会長の提案により、今年度の PTA 総会の持ち方を提案させていただきました。

小布施中学校 PTA 規則第18条、評議員会の役割の中で、会長が必要と認める議案及び審議という記載があります。公的機関より集会の自粛や不要不急の行動を控える等の呼びかけなどの要請を受けて、4月28日の PTA 総会は、評議員会で承認を受けた総会資料の配付とさせていただきます。

本来 P T A 総会は、会員の皆様からの意見を頂き承認を得る場ですが、評議員会での代

表による承認決議をもって総会での承認とさせて頂きましたことをご了解ください。

本年度の PTA 活動につきましては不測の事態が考えられます。計画に記載している活動ができないこともあり得ます。その時の状況を判断し、会員の皆様に相談し、臨機応変に対応していこうと思っておりますので、ご理解とご協力をお願いいたします。

このように、新型コロナウイルス感染症拡大防止対応のため、小布施中学校の PTA 活動も制限される中、活動や組織を見直しながら活動をしてきました。その活動の経緯を報告させて頂きます。

(2) 令和 2 年度の特別な取り組み

①PTA 会費の見直し 2,000 円 → 令和 2 年度 1,500 円に

(令和 4 年度は、近年の活動状況を見てさらに 1,200 円に減額)

②中体連夏季大会中止に伴う、夏季交流大会への支援

①PTA 会費の見直し

<平成 28 年度から令和元年度まで> 年会費 2,500 円 → 2,000 円に減額

- ・町生徒会補助を花壇作業廃止に伴い、1 人 300 円 → 1 人 150 円 (資源回収のみ) に、減額をした。
- ・資源回収謝礼 (ガソリン代、1 台 500 円 × 78 台 = 39,000 円) は資源回収の収益から支出する。
- ・親子レクの廃止により、学級補助 (1 クラス 8000 円) を廃止。
- ・PTA コーラスの指揮者と伴奏者を外部からでなく会員の中で依頼をし、謝礼等の予算配当をなくした。

<令和 2 年度>

- ・令和元年度の PTA 活動の反省、令和 2 年度の活動の中で制限されるものを考え、繰越金を残さない方向で PTA の年間活動の予算を立て、PTA 会費の見直しを行った。年間 2,000 円の会費を、1,500 円に減額し、予算案をたて活動を行った。

【資料 1】令和 2 年度 PTA 会費の見直しにあたって (説明資料)

令和 2 年度 P T A 会費の変更について (提案理由)

○令和 2 年度の予算案では、PTA 会費を 2000 円とした場合。

PTA 会費の合計が、638000 円となります。

実質の活動費は、「(全体予算) - (予備費) = 576,400」となります。

○会費を 1500 円にした場合、会費のみで収入が 約 10 万円の減少となりますが、新型コロナウイルス感染症への対応のため、活動が全てできるとは限りません。

○家庭数は、しばらく各学年 100 人程度で、会費の収入はほぼ横ばい状態です。

8 ~ 9 年ほどで繰越金が無くなりますが、今までの繰越金で対応が可能と考えます。

以上のことから、PTA 会費、2,000 円から 1,500 円への引き下げを提案します。

<令和4年度>

- ・PTA組織の改編に伴い、活動を精選したため、さらに年間1,200円に減額しました。
- ・5月に1,000円を集金し、活動状況を見て残りの金額を集金する方法も考えましたが、集金に関わる事務処理が複雑になるため、年間1,200円を一括集金としました。

②中体連夏季大会中止に伴う、夏季交流大会への支援

例年6月に実施している中体連夏季大会が、感染症への対応のため中止となりました。それに変わる、部活動交流戦が8月に行われました。7月・8月の部活動は、熱中症への危険性も高まるため、少しでも生徒の活動を支えたいという声があり、塩分補給タブレットや経口補水液などの熱中症対策物品の補助を行いました。

【資料2】 夏の部活動交流戦に向けての支援活動

部顧問様 部活指導ご苦労様です。
7月下旬からの大会に向けて、PTAより熱中症対策用物資を差し入れしたいと考えています。各部の希望をお知らせください。

1 該当項目にを入れてください。
□いる（下記の該当項目にを入れてください。） □必要ない

2 希望する物品にを入れてください。

□基本 塩分補給タブレット×4袋
経口補水液 ×4本
□経口補水液のみで良い ×8本
□塩分補給タブレットのみ ×8袋
□その他の希望（上記の品は2000円程度です。）




※食品類は予算をつけにくいとのことでPTA予算より補助を考えました。

<各部活動への配布内訳>

	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	
	男子 バスケ	女子 バスケ	男子 バレー	女子 バレー	卓球	男子 テニス	女子 テニス	サッカー	陸上	バドミ ントン	吹奏楽	創作	
タブレット	4	4	8		4	4			4	8	4	4	44
飲料水	4	4		8	4	4	8	8	4		4	4	52
タブレット	880	880	1760	0	880	880	0	0	880	1760	880	880	2200円
	700	700	0	1400	700	700	1400	1400	700	0	700	700	1750円
	1580	1580	1760	1400	1580	1580	1400	1400	1580	1760	1580	1580	18780

- ・18780円の支援活動費を、役員会で検討し予備費より執行しました。
- ・令和3年度以降は、夏季大会が感染症への予防対応をしながら行われているため、このような活動は行っていませんが、状況によっては対応をしていきたいと考えています。

(3) 令和3年度の特別な取り組み

- ① 書面決議によるPTA評議員会の運営
- ② PTA活動と組織の見直し
- ③ 感染症拡大防止のための支援活動(加湿器設置の支援)
- ④ オンラインによる会合旅費の支給(通信費として一律500円)
- ⑤ 資源回収中止に伴う、生徒会活動への支援

① 書面決議によるPTA評議員会の運営

PTA総会での書面議決以外に、議決機関である年2回のPTA評議員会も、集会形式での開催ができない状況にあり、以下のような流れで書面議決を行いました。

<令和3年度書面決議による評議員会の運営日程と議題>

- | | | |
|---------------------|-----------|----------------|
| (1) 評議員会議案書・質問用紙配布 | 1月31日(月) | ← 議案書の配布 |
| (2) 質問用紙提出〆切 | 2月4日(金) | ← 議案書への質疑 |
| (3) 質問に対する回答書・採決表配布 | 2月7日(月) | ← 質問への回答と採決表配布 |
| (4) 採決表〆切・集計 | 2月11日(金) | |
| (5) 採決についての連絡(再検討) | 2月14日(月)~ | ← 決議と報告 |

【資料3】 評議員会での書面決議議題

○議題「以下の1~4の議題についてPTA評議員による決議をお願いしたい。」

第1号議案 令和3年度の活動報告と反省および来年度の方向について

- ・総務、学級会長会、コーラス部、修養部、厚生事業部、校外生活指導部、支部長会の活動報告および反省について承認をお願いしたい。

第2号議案 PTA会計中間報告

- ・本年度小布施中学校PTA会計の中間報告について承認をお願いしたい。
- ・第1回評議員会で認めて頂いた特別予算として、1・2年教室への加湿器6台の購入をした。また、資源回収中止による鳳凰祭補助を予備費より支出した。

第3号議案 令和4年度PTA正副会長及び総務役員の承認について

- ・来年度新役員について選挙管理委員を組織し、選挙を実施した。
- ・新年度役員として、PTA会長1名、PTA副会長2名、幹事1名、監事1名の計5名の承認をお願いしたい。

第4号議案 令和4年度小布施中学校PTA組織改編に関わる会則及び細則の変更について

- ・修養部、厚生事業部、校外生活指導部の3つの部を統合し、教養部、厚生部の2つの部会に編成し、令和4年度より4名の学級役員の選出を行いたい。
- ・小布施中学校PTA組織改編と、学級役員を4名にすることについて承認をお願いしたい。
- ・組織改編にともなうPTA会則「第2章 組織 第6条」変更の承認をお願いしたい。

- ・議案書について質疑用紙を配布し、意見をお聞きしました。それを受け、質問への回答書や説明を加えた文章を配布し、書面決議を行いました。
- ・令和3年度は、第2回評議員会、令和4年度は、第1回評議員会の2回実施しました。友に賛成多数で承認されました。

- 本来であれば、PTA の役員方に集まって頂き、顔を合わせ、意見要望をお聞きしながらの運営が望ましいと思われます。よりよい方法を、他校の PTA 活動でのご意見をお聞きする中で決めだしていきたくて考えています。

②PTA 活動の見直しと組織改編

令和 2 年度の PTA 活動が感染症への対応により制限をされたため、PTA 役員会で、活動の見直しにあわせ組織の見直しが提案されました。

それをうけ、PTA 規約の変更について、令和 3 年度の役員会、評議員会で審議し、PTA 総会で確認を行いました。年度内に行われる次年度役員選考から実施し、令和 4 年度での PTA 会則規約改正となりました。

【資料 4】 評議員会での組織改編に関わる提案

<提案理由>

- 令和 3 年度まで、各学級から 5 名の委員を選出している。その他、PTA 総務（正副会長）、会計監事幹事、支部役員を選出している。今後生徒数減少に伴い、家庭数が減り役員選出にも支障を来す恐れがある。そこで下記のように改編を行いたい。ただし、令和 3 年度はすでに委員会が組織されているので、令和 4 年度より、組織改編に伴う新部会での活動を行いたい。
- 組織変更にともない、令和 4 年 2 月 15 日（火）の参観日において、新 3 年生の役員選考が実施できるよう PTA 会則一部改正による新年度組織の変更をお願いしたい。
- 組織改編に向けた役員を選出を 2 月 15 日より実施できるようお願いしたい。

<小布施中学校 PTA 会則の改正>

第 2 章 組織 第 6 条

第 6 条 本会の事業遂行のため、次の専門部を置く。

- 1 総務部 2 修養部 3 厚生事業部 4 校外生活指導部
- 5 支部長会 6 学級会長会 7 コーラス部（副学級長）

（付 則） 本会則は昭和 51 年 4 月 1 日より実施する。

一部改正 平成 16 年 2 月 19 日 一部改正 平成 25 年 2 月 8 日

一部改正 平成 26 年 2 月 7 日 一部改正 平成 27 年 2 月 6 日

一部追記 平成 28 年 4 月 18 日 一部改正 平成 29 年 2 月 6 日



第 6 条 本会の事業遂行のため、次の専門部を置く。

- 1 総務部 2 教養部 3 厚生部 4 支部長会
- 5 学級会長会 6 コーラス部（副学級長）

（付則） 本会則は一部を改正し、令和 4 年 4 月 1 日より実施する。

一部改正 令和 4 年 2 月 15 日

を付則に追記する。

【資料5】 PTA 組織改編にともなう補足

ア) 新部会の名称について

新部会の名称については、旧部会の名称と仕事内容をイメージしやすいものとした。

旧) 修養部、厚生事業部 → 新) **教養部**

旧) 厚生事業部、校外生活指導部 → 新) **厚生部**

イ) 各専門部の活動内容の引継

<令和3年度 各部会の活動内容>

○修養部
<ul style="list-style-type: none"> ・ PTA会報編集会議 ・ PTA会報 発行 ・ 学校保健委員会への参加
○厚生事業部
<ul style="list-style-type: none"> ・ 環境整備 (草取り) ・ 須高学校保健総会・講演会への参加 (5名)
○校外生活指導部
<ul style="list-style-type: none"> ・ お花市 街頭指導 ・ 安市 街頭指導 ・ 郡育成 地域つながり委員会 (年3回)

<令和4年度 各部会の活動内容>

○ 教養部
<ul style="list-style-type: none"> ・ PTA会報編集会議 ・ PTA会報 発行
○ 厚生部
<ul style="list-style-type: none"> ・ 学校保健委員会への参加 ・ 須高学校保健総会・講演会参加 ・ 郡育成 地域つながり委員会 (年3回)

●現状を考え活動を精選
(今後活動をしないもの)

ウ) 各部共通 (町・郡・県PTA関連諸会合への参加動員協力) について

- ・ 郡PTA研究集会への参加 (各部2名)、上高井教育研究修会への参加 (各部3名) の各部ごと割り当てられている参加要請は、他の部会と同様の要請人数で行う。
- ・ 小布施中学校PTA全体での参加動員人数は、1つの部会分減となる。

エ) 役員選出に関わって

令和4年2月15日(火)の参観日に、新3年生の役員選考が実施されるので、PTA会則一部改正による新年度組織づくりを行う。

- ①学級会長 ②コーラス部(学級副会長) ③教養部 ④厚生部 それぞれ1名ずつ、合計4名の役員選出をお願いしたい。

③ 感染症拡大防止のための支援活動(加湿器設置の支援)

感染症拡大防止のための支援活動(加湿器設置の支援) の報告

- ・ 第1回評議員会で認めて頂いた特別予算として、1・2年教室への加湿器6台を購入しました。3年生の教室は、加湿器が2台ずつ配置されていましたが、1・2年生の教室は1台のみの配置でした。全てのクラスに2台の加湿器配置ができました。感染症予防への対応の効果を高める環境ができました。ありがとうございました。



④ オンラインによる会合旅費の支給(通信費として一律 500 円)

- ・旅費等の支払いについて、1 会合につき郡内 500 円、近隣市町村は 1,000 円で予算を立て、年度末に役員の報告に応じ支払いをしている。
- ・令和 3 年度より、オンライン会議が増えたため、役員の方々の負担を考え、一律 500 円の通信費をお支払いした。今後も、継続させ、オンライン研修などの参集を呼びかけたていきたい。

⑤ 資源回収中止に伴う、生徒会活動への支援

- ・令和 4 年度第 1 回評議員会で、資源回収が中止となった場合、鳳凰祭での生徒会活動を補助することをお認め頂き、PTA 総会でその旨を報告した。令和 4 年度の鳳凰祭では、生徒会企画で使用したペンライト代、約 3 万円を支出した。

2 『 小学校と連携した PTA 活動 』

(1) 小布施町連合 P T A 連合

小布施は、長野県で一番小さな面積の町です。一町一校で、小学校と、中学校の単位 P T A 同士が協力して活動し、連合 P A として活動をしやすい長所があります。小学校と、中学校が一緒になって活動する連合 P T A の活動を継続しています。

◆小布施町は・・・

①長野県で一番小さい面積

②1 町 1 校

栗ガ丘小学校 1 校

小布施中学校 1 校

☆ P T A 活動も一緒に行いやすい

小布施町連合 P T A

【資料 6】 小布施町 P T A 連合会会則(抜粋)

第 1 章 総 則

第 1 条 本会は小布施町 P T A 連合会と称し、事務局を隔年で小・中学校の P T A 事務局に置く。

第 2 章 組 織

第 2 条 本会は栗ガ丘小学校・小布施中学校の P T A 役員をもって組織する。

第 3 章 目的および事業

第 3 条 本会は小・中学校 P T A の緊密な連絡のもとに、児童・生徒の健全育成および家庭教育・社会教育・学校教育の充実と発展に寄与することを目的とする。

第 4 条 本会は前条の目的を達成するため次の事業を行う。

- (1) 児童・生徒の健全育成および P T A 活動の連携を図るための事業及び研究協議
- (2) その他本会の目的を達成するため必要と認めた事項

第 4 章 会 議

第 5 条 本会運営のため次の会議を行う。

(1) 総会

第 6 条 1 総会は結成会および臨時総会とする。

2 結成会は毎年 1 回、会長が招集する。

3 臨時総会は、理事会が必要と認めたとき、会長が招集する。

・小布施町 P T A 連合会会長は、小学校・中学校の P T A 会長が交互につとめています。

・予算については、町連合 P T A 負担金として小学校・中学校 P T A が交互に負担をしています。

(2) 町内危険箇所点検

小布施町内の河川や、交通量の多い通学路など、危険な箇所に子供へ安全を呼びかける看板設置や補修をしています。

小学校は、校外生活指導部、中学校は支部長会が協力し、毎年5月に町内を分担して点検をおこないます。



<p>1 危険箇所点検</p>  <p>分担場所の状況確認と看板補修</p>	<p>小布施町連合PTA</p>	<p>1 危険箇所点検</p> <p>①活動主体</p> <ul style="list-style-type: none"> ・栗ガ丘小学校PTA校外指導部 ・小布施中学校PTA支部長会 <p>②当日の活動内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ア 危険箇所に設置してある看板の修理 イ 新たに看板を設置、看板の付け替え ウ 新たな危険箇所の確認 	<p>小布施町連合PTA</p>
--	------------------	--	------------------

○今後の活動に関わって

- ・危険箇所点検は、感染状況を見て判断をしていく。(レベルでの判断はできにくい)
- ・全体で集まってから各地区で実施をしたが、集合場所を各支部公会堂にしたらどうかという意見があげられた。活動に必要な物品は前日までに中学校に取りに来ていただくなど工夫し、各地区に分散し活動を行う方向で考えたい。その分、4月の支部長会で見直しをもって、集合場所や時間などを各地区で決めだしたい。
- ・点検のための準備や看板の配置図(地図)などが必要であるので、5月の支部長会で細かな打合せと実施の判断をしていく。

(3) 小布施町長さんとの懇談

令和2年度までは、町長、教育長、各校のPTA役員、学校職員が参加して行っていた。町からの施策、PTAへの要請が伝えられたり、PTAからの要望や教育に関する意見を述べたりして、その場で、可能な範囲で回答をしていただいていた。

令和2・3年度は感染症拡大防止対応のため、懇親会は行わず、書面で要望を提出し、書面で回答をいただきました。中学生の医療費負担や交通災害共済費等の補助、トイレ改修、道路改修、エアコン設置等々、様々な成果がありました。町に学校からの要望をお伝えしていく事業でもあり、今後も大切にしていきたい活動です。

(4) 連合PTA活動を通して

- ・今後も、小中合同での危険箇所点検、環境整備、祭の巡回などにより、生徒の安全や学習しやすい環境づくりの維持を今後も続けていきたいと考えています。
- ・感染症等への対応で、合同でのコーラス活動は2年間休止の状態です。また、地域の行事についても中止があり、今後の活動をどのように継続していくのが課題となっています。
- ・小学校と中学校の連携の様子を紹介させていただきました。さらに広い視点で、ご指導・ご助言をいただくとありがたいです。

コロナ禍におけるここ数年の PTA 活動

～活動の意義の再確認と見直しを進めて～

高山中学校 PTA

1. はじめに

令和元年度末からコロナ禍となり、本校 PTA 活動も多くを中止や縮小、変更を余儀なくされました。あわせて、本会では、令和2年度、3年度と2年続けて、会員に会費の一部返金を行いました。こうしたことから、今年度、活動の意義を見返し、これまでとは変更して事業活動計画を立案しています。そうしたことがらをいくつか紹介します。

2. 事業計画の見直しの方向

(1) これまでの活動の意義や成果を活かしながら、より効率的に、より有意義な活動としていく。

○学校への参集機会の制限をはじめとして、なかなか大勢で集まることが難しくなっている中、参集の機会に各委員会が連携することで、各委員会の活動が結びついて実施できるとよいと考えました。

○加えて、『PTA 役員および会員の「負担感」の軽減につながればよい』という思いもありました。

(2) 学校の願いを共有して、学校と連携して活動を進める。

○生徒たちの成長にむけて、学校教育活動（学校の願い）との連携の必要性が大きいと考えました。

(3) 必要に応じて、村 P 連絡協議会を通じて、高山小 PTA とも連携して進める。

○村内は小中1校なので、兄弟姉妹関係のあるご家庭が多いことから、連携を図ることが必要に思いました。

3. 各委員会の事業計画

(1) 常任委員会

○定例委員会の開催

・令和元年度まで、実質的に開催していませんでしたが、2月の一斉休校措置に伴い、その必要性を認識し、4月（一斉委員会・代議員会前）、12月（第4回役員選考委員会）、1月（一斉委員会後）、3月（代議員会・引継ぎ会前）に、開催する方向としました。

・8月～12月に4回ほど開催される役員選考委員会が、実質的な常任委員会でしたが、年度のはじめや次年度へむけての申し送りなどを、確実にする上で役立っています。

・また、感染状況の変化に応じて、事業の中止や規模の縮小化などについて、事前

に確認をしておくことができました。

(2) 総務委員会（三役、会計監事）の事業に関して

①三役会（4月当初）

- ・4月当初に三役会を行うこととし、前年度からの引き継ぎ事項について、検討しています。

①新任職員歓迎会（4月）

- ・例年、4月のPTA総会の日に開催してきていますが、ここ3年は中止しています。
- ・前年度の引継ぎ会で相談し、今年度は開催しないこととしました。今後も、年度末に検討する方向としました。

②おやじの会（12月）

- ・例年どおり計画しました。
- ・毎年、村内より講師を招聘して、昇降口に門松を設置してきた。生徒への情操育成の面でも一定程度の役割を果たしています。
- ・名称は変更していないが、女性会員、生徒も参加できる催しとしてきています。
- ・令和2年度は、事業としては中止したが、有志で設置をし、継続してきています。
- ・昨年度、「ミニ門松づくり」を取り入れ、大型の門松以外にも、参加者が製作できるようにし、製作した「ミニ門松」は、参加者全員に持ち帰ってもらいました。
- ・「ミニ門松」は、好評で、今年度も取り入れる方向です。（写真は昨年度のもの）



大型門松の土台作り（薪割りと藁すぐり）全員で手分けして



「大型門松」と「ミニ門松」にわかれて



大型門松の完成



ミニ門松の完成

(3) 学級会長会

①学年 PTA・学級 PTA

- ・年 4 回の授業参観日ごとに行ってきています。
- ・第 2 回（6 月）は、インターネット利用をテーマに、第 3 回（11 月）は人権教育に関する話題をテーマにする方向としました。
- ・各回とも、その時期に必要なに応じた、懇談テーマを設定する方向としました。

②学級レク

- ・各学級への助成費として予算化はせず、実施する学級 P・学年 P は、その際に集金する方向としました。

③PTA 作業

- ・親子での学校への奉仕活動として、校外指導委員会で担当し、年 2 回（5 月と 9 月）に、全会員・全生徒の半数ずつの参加で開催してきました。
- ・令和 2 年、3 年は中止しています。
- ・また、令和 2 年度の春の作業の中止をきっかけに、年 1 回（9 月）に 1 学年 P 会員と 1 学年生徒で行うことと変更しました。

(4) 人権教育委員会（学級 P 副会長会）

①PTA 人権教育講演会

- ・令和 2 年度まで、5 月に行ってきましたが、令和 3 年度から第 3 回授業参観日（11 月）にあわせて、学校と共催で開催することとしました。
- ・参加を呼びかけやすくなり、学級 PTA では、講話に関連したテーマの懇談が設定できそうです。

(5) コーラス・厚生委員会

①学校保健委員会、学校と共催での講演会

- ・令和 2 年度まで、学校保健委員会が、開催してきている講演会として、11 月に行ってきましたが、令和 3 年度より、第 2 回授業参観日（6 月）に、開催しました（今年度はオンライン形式）。
- ・昨年度と今年度は、学校とも連携し、学校の授業においてインターネット利用に関する授業を行い、その後インターネット利用に関する講演会を聴くこととし

ました。

- ・生徒の退席後には、保護者を対象とした講演を設け、学級 PTA 懇談会においても、講演内容を本にしたテーマで話し合うことができました。
- ・生徒とともに、保護者も、教職員も学ぶ研修会となりました。

講師から、30分ほど保護者向けにお話をいただき、この後、学年・学級 PTA 懇談会でも話題にしました。



②給食試食会

- ・令和2年度より、3年間実施できていません。
- ・実施できる見通しとなったら、第2回または第3回授業参観日にあわせて実施する方向で調整する予定です。

③PTA コーラス

- ・令和2年度より、3年実施していません。
- ・「実施できる見通しとなったら、文化祭（学校の音楽会）には出演することができる」という意見は多いです。

(6) 教養委員会

①PTA 新聞「楓の森」の発行

- ・年2回（7月と3月）に発行です。
- ・村内全戸に配布しているので、村広報にあわせて配布しています。
- ・印刷は村広報制作業者に、全面協力していただき、委員の負担感を軽減しています。

(7) 校外指導委員会（支部長会）

①地区生徒会活動への援助

- ・これまで「資源回収」への協力をしてきました。
- ・学校の判断で、令和2年度、3年度は「資源回収」を中止しています。また、学校では、今後「資源回収」を行わないこととしたので、各地区の活動援助がメインとなりました。

②地区懇談会の開催

- ・子どもの数が減っている地区もあり、以前から「となりの地区と合同で行いたい」、「小学校と合同で行いたい」という反省も寄せられていました。
- ・昨年度より、村 P 連絡協議会で、学校長、三役相談の上、小学校との合同開催を行うことができるようにしてきています。

- ・期日は、学校の都合に合わせて、設定しています。小学校と合同の場合は小学校の開催日にあわせることとしています。
- ・今年度は、複数地区合同開催は1会場（4地区合同）、小中合同開催は9会場（13地区）でした。 ※巻末資料参照
- ・地区懇談会運営費は、地区単位への援助ではなく、会場単位への援助とする方向としました。

(8) その他

- 上記のような活動の見直しなどにより、令和2年度まで年額3,000円の会費を、今年度は2,400円としました。

4. 高山村 PTA 連絡協議会のあり方の抜本的な見直し ～高山小学校 PTA との連携～

(1) 村 P 連絡協議会を情報交換と連携の場に変更

- 令和元年度まで、高山村 PTA 連絡協議会は、5月に村長様をはじめ、20数名ほどの来賓を招いて、小中それぞれの PTA 役員、学校職員などが参加し、講演会などの研修会を開催したあと、懇親会を行っていました。
- 令和2年度は、コロナ禍で中止し、1年をかけて関係機関にも相談し、令和3年度より小中 PTA 三役、小中学校長、小中事務局のみが参加する、小中 PTA 活動の情報交換および連携の場とする方向としました。
- 会合は年間に2回を原則とし、必要に応じて、年度途中にも開催する方向としています。

(2) 小中 PTA の連携による具体事例

- ①希望する地区での地区懇談会の小中合同開催
 - ・詳細は上記および巻末資料
- ②それぞれの PTA 組織、活動計画立案、運営に関する情報交換
 - ・互いの活動状況や次年度計画立案にむけての申し合わせを確認することで、会員にとって有意義になっています。
 - ・今年度は、お互いの活動計画（4月の総会資料）の交換をしているが、次年度にむけて、連携しやすい環境作りに必要なことを進めていきたいと考えています。
 - ・次年度役員選出のあり方の共有により、選考をスムーズにしていくことにつながっています。
- ③PTA 活動以外に関する事項の情報共有
 - ・今年度、中学校では PTA を交えての「制服検討委員会」が開催されています。そこで話題になっていることがらなどを紹介し、次年度以降に入学する児童の保護者代表という立場で、意見をいただくことにつながりました。

5. おわりに

ここ数年は、今までと同じ活動を計画してもできない、計画しても実施できないという事態が出ています。また、高山中学校は生徒数の減少はそれほど顕著なものではありませんが、

小学校はその状況が顕著です。数年前までと、同じように、同じ活動をしていこうとしても、正直、たいへんさ（負担感）もありました。そこで、活動について意義をとらえ直し、修正を図ってきました。

今回、レポート担当校となり、その一端をご紹介しました。ただ、高山村は小中1校ということもあり、そのような状況の中で、高山小学校PTA や関係する皆様方に、ご協力いただけたことがたいへんありがたかったと思っています。

今後も、活動の意義をとらえて、生徒のために、学校と力をあわせて、楽しみながら、保護者も成長を進めることができる高山中学校PTA を実現していきたいと思います。

令和4年度 地区懇談会 一覧

高山中学校PTA校外指導委員会

181

162

	支部	開催日	開始時刻	会場	生徒数	家庭数		
1	千本松・新堀	7月5日(火)	18:30	千本松公会堂	9	8		
2	堀之内	7月13日(水) 小学校と合同	18:30	堀之内研修センター	14	12		
3	水中・久保	7月13日(水) 小学校と合同	18:30	久保公会堂	13	13		
4	赤和	7月5日(火)	18:30	赤和集落センター	6	5		
5	荒井原	7月5日(火)	18:30	ふれあいセンター	18	16		
6	紫	7月6日(水)	18:30	集会所	28	23		
7	緑ヶ丘	7月6日(水)	18:30	住民センター	14	14		
8	二ツ石	7月5日(火)	18:30	二ツ石集落センター	21	18		
9	松南	7月6日(水)	18:30	松南公会堂	6	6		
10	黒部	7月13日(水) 小学校と合同	18:30	黒部公会堂	2	2		
11	牧・福井原	7月13日(水) 小学校と合同	18:30	牧生活改善センター	8	7		
12	駒場	7月13日(水) 小学校と合同	18:30	駒場公民館	7	6		
13	松原	7月13日(水) 小学校と合同	18:30	松原公会堂	5	5		
14	柘形	7月13日(水) 小学校と合同	18:30	柘形集会所	4	3		
15	三郷	7月13日(水) 小学校と合同	18:30	三郷集落センター	4	4		
16	中原	7月5日(火)	18:30	中原会館	14	12		
17	なかひら	7月13日(水) 小学校と合同	18:30	なかひらセンター	3	3		
18	宮関	7月13日(水) 小学校と合同	18:30	集落センター (蕨平)	5	5	0	0
19	天神原・蕨平						2	2
20	荻久保						2	2
21	温泉・牧場						1	1